

教科	技術・家庭(家庭分野)	学年	第3学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション	0.5				
消費者被害と消費者の自立	2	・消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。 ・消費者を支えるしくみについて理解できる。 ・消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者をめざす。	・消費者被害の背景とその対応について理解している。 ・消費者被害の背景とその対応について理解している。 ・消費者の基本的な権利と責任について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。 ・自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・消費者被害の対応について、課題の解決に主体的に取り組み、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
持続可能な社会	2	・購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。 ・環境に配慮したライフスタイルを選択し、実践できる。 ・持続可能な生活にするために、自分たちができることを考える。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。 ・自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・よりよい生活の実現に向けて、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
幼児のための小物づくり	5	・幼児との触れ合いについて、自分の課題を設定する。 ・幼児に合った接し方や遊びを工夫する。	・幼児にととの遊びの意義について理解している。	・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、計画している。	・幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組み、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎中学校

幼児の生活と家族	4	・幼児の心の発達の特徴について考える。 ・幼児の1日の生活を知り,特徴や中学生との違いについて考える。 ・幼児の観察を通して幼児を理解する。 ・幼児の生活習慣がどのように身に付いていくのか考える。 ・幼児の生活習慣の習得を支える家族の役割を考える。 ・幼児の1日の生活を振り返り,幼児にとっての遊びの意義について考える。 ・子どもが育つ環境としての家族の役割を考える。 ・幼児を取り巻く家族の気持ちになって,幼児への働きかけを考える。 ・幼児との触れ合い体験を振り返り,幼児の特徴や関わり方についてまとめる。 ・幼児との触れ合い活動を通して,学んだことを発表する。	・幼児の心の発達の特徴について理解している。 ・幼児の発達と生活の特徴について理解している。 ・幼児の生活習慣の習得の特徴について理解している。 ・幼児の生活習慣の習得を支える家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義について理解している。 ・幼児との関わり方について理解している。 ・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児との関わり方について理解している。	・幼児の遊びの意義を踏まえ,幼児との関わり方を工夫している。 ・家族の立場から幼児との関わり方について考え,工夫している。 ・幼児との関わり方の課題解決に向けた一連の活動について,実践を評価・改善し,考察したことを論理的に表現している。	・家族の立場から幼児との関わり方について,工夫し創造し,実践しようとしている。 ・幼児との関わり方について,課題の解決に主体的に取り組み,課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し,工夫し創造し,実践しようとしている。
家庭生活と地域のかかわり	3	・家庭生活は,地域との相互のかかわりで成り立っていることを理解する。 ・地域で多様な人びとが暮らせるための工夫を理解する。 ・地域で活動する高齢者や,見守りが必要な高齢者などさまざまな高齢者がいることを理解する。 ・地域で活動する高齢者や見守りが必要な高齢者とのかかわりを考える。	・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。 ・高齢者など地域の人びとと協働する必要があることについて理解している。 ・介護など高齢者との関わり方について理解している。 ・介護など高齢者との関わり方について理解している。	・地域の人びとと関わり,協働する方法について問題を見いだして課題を設定している。 ・高齢者と関わる方法について問題を見いだして課題を設定し,解決策を構想している。 ・高齢者と関わる方法について実践を評価・改善し,考察したことを論理的に表現している。	・家族や地域の人びとと協働し,よりよい生活の実現に向けて,家族・家庭や地域との関わりについて,課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・高齢者との関わり方について,課題の解決に主体的に取り組み,課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・家族や地域の人びとと協働し,よりよい生活の実現に向けて,家族・地域との関わりについて工夫し創造し,実践しようとしている。
生活の課題と実践	1	・今まで学習してきた「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の中からほかの内容とも関連させて課題を設定して,課題解決に向けて計画を立て実践できる。 ・実践したことをまとめ,発表し,よりよい生活にするための新たな課題を見つけ次の実践につなげられる。		・自分や家族の衣生活や環境について問題を見いだして課題を設定し,解決策を構想し,実践を評価・改善し,考察したことを論理的に表現するなどしている。	・よりよい生活の実現に向けて,課題の解決に主体的に取り組んだり,振り返って改善したりして,生活を工夫し創造し,実践しようとしている。